

第一次 アジア伝統医学調査団

報 告 書

1 9 7 6

岡山大学医学部アジア伝統医学研究会

アジア伝統医学研究会調査日程

昭和50年12月19日	大阪	→	バンコク
20日	バンコク	→	カルカッタ
21日	カルカッタ	→	ベナレス
22日	ベナレスヒンドウー大学医学部訪問		
23日	"		
24日	"		
25日	ベナレス	→	ガヤ
26日	予 備		
27日	ガヤ	→	カルカッタ
28日	インドにおける資料の整理		
29日	予 備		
30日	カルカッタ	→	ラングーン
31日	ビルマアユルベータ医科大学訪問		
昭和51年1月1日	"		
2日	ラングーン	→	マンダレー
3日	予 備		
4日	マンダレー	→	ラングーン
5日	某寺院訪問		
6日	ラングーン	→	バンコク
7日	ワット・ポー寺院訪問		
8日	"		タマサート大学の日本語学生と交流
9日	"		
10日	予 備		
11日	全資料の整理		
12日	バンコク	→	タイペイ
13日	タイペイ	→	大阪

援助者名簿

(アイウエオ順)

《国内》

池田孝道	自民党海外経済協力委員会委員
井内慶次郎	文部省大学局長
大島浩	文部省大学局医学教育企画係長
小野寺伸二	国際協力事業団医療二課長
桑木秀崇	北里大学東洋医学総合研究所臨床研究部長
国際仏教興隆協会	
斎藤諦淳	文部省大学局医学教育企画係長
笹川保健記念財団	
佐分利輝彦	厚生省公衆衛生局長
田辺製菓	
橋本龍太郎	衆議院議員
古田友経	K.K. 大本組副社長
日本国際医療団	
日本救ライセンター	
日本メルク万有	
丸山博	大阪大学名誉教授

《国外》

K . N . U dpa	Director of Institute of Medical Sciences, Banaras Hindu University
松井紀明	日本国際医療団タイ国駐在員
中山光男	タマサット大学日本語科教授
林 廼 恵	岡山大学医学部台湾同窓会長
陳 玉 盤	台湾必安研究所所長

会 計 報 告

収 入

各自負担	2,400,000
日本国際医療団援助	578,000
合 計	2,978,000

支 出

使用用途	金 額
旅 費	
航空運賃	
ビザ関係	
ホテル予約ets	2,074,704
国内準備費	
活動費	
通信費	269,934
現地活動費	
インド	
タイ	
ビルマ	
タイペイ	228,459
保 險 金	
共 同 備 品	27,119
報告書作成費	
郵 送 費	310,000
雑 費	22,986
翌年度準備費	36,798
合 計	2,970,000